

## 令和6年度市政懇談会 中部地区 議事録

○日 時：令和6年7月24日（水）19：00～20：50

○場 所：ふれあいセンター

○参加者：

- ・一般参加者 71名
- ・市議会議員 大久保県議、綾香議員、大村議員、松口議員、松尾議員、山内貴史議員、山田議員、吉福議員、吉住龍三議員
- ・理事者 市長、副市長、教育長、統括監、総務部長、財務部長、市民生活部長、福祉部長、文化観光商工部長、農林水産部長、建設部長、教育次長、水道局長、消防長、病院局長

○テーマ：

- (1) 地域課題について
  - ・空き家問題に対する取組
  - ・「ゼロカーボンシティひらど」の実現へ
  - ・さらに便利な市役所へ（DX推進）
  - ・地域医療の再構築に向けて
- (2) その他

○次第：

- (1) 開会
- (2) 市長挨拶
- (3) 職員紹介、議員紹介
- (4) 内容説明（パワーポイント使用）
- (5) 意見交換
- (6) 閉会

○議事録：

質疑1

【発言者】

地域医療のことについて。今後とも医師の確保、病院の建て替えとか様々な課題があると思うがご尽力いただきたくようお願いします。（答弁不要）

質疑2

【発言者】

全国少子高齢化が問題になっていますが、平戸市では特にあと数年で、限界集落も

増えていく状況の中、子育て環境、保育園問題とか小児科問題とか以前から熱心に取り組んでいただいていると感じています。しかし、平戸市には産婦人科がありません。産むのは佐世保とかに1時間かけていけないといけない。子どもが生まれないと人口も増えないわけですが、産む体制、安心して産める体制が必要と感じますのでよろしくをお願いします。

#### 【統括監】

平戸市には民間病院も含めて産婦人科がないという状況が続いております。近年では厳しい労働環境を敬遠して、産婦人科を希望する医学生が極端に少なくなっているということもあり、県内でも少なくなっているという現状です。実態としても勤務先は、分娩件数の多い都市部であったり佐世保市であったりに偏っているというのが実情であります。ご存じのように産科は昼夜を問わずに対応が必要ですので、新たに産科を設置しようとなると、夜の出産もあり一人ではできないんですね。従って、産科のお医者さんが少なくとも2名が必要となります。そもそも都市部以外、分娩件数が大変少なくて採算が採れないこともありまして、現状平戸市内での産科の設置は難しい状況になっています。おっしゃる趣旨は大変理解できる場所ではありますが、そういったことでなかなか難しいというのが現実であります。保健師指導はしっかりと行ってまいりますし、お母さん学級もやっています。できる限りの支援はしていきたいと思っていますので何卒ご理解をいただきますようお願いいたします。

#### 【福祉部長】

私の方からは、妊婦さんへの支援ということで、安心して出産できる体制づくりということで少し説明させていただきます。本市に産婦人科がないということで、妊婦の皆さんの出産に対する不安は承知しております。そこで、市の方では安心出産事業という、定期検診にかかる交通費助成をしています。今後これについても拡充をしていきたいということで内容の見直しを考えています。それに加えて不安感やリスクの回避ということで、今後においては出産時にかかる事前宿泊についても検討しております。安心して出産できる体制づくりに努めてまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

### 質疑3

#### 【発言者】

先ほどのお話と同じで、自分の娘も1時間かけて病院に行って、まだ産まれないと帰されてまた行くということがありました。大変なことだとは思いますが、安心して産める体制づくりをぜひお願いします。

#### 【市長】

お気持ちは大変分かりますし、そうしたいんですが、実際に産婦人科医の数が大変少なくなっています。成り手がいない。お産は成功して当たり前が前提で、もしなにかあればすぐに訴訟になります。裁判費用とかのリスクもあって、なりたい人がどん

どん減ってですね、かなり厳しいんです。都市部でも少ないっていう状況。加えて、産婦人科のお医者さんだけではできない。助産師さんもないといけない、その給与もお医者さんと同じくらいでなくてはいけない、っていうのでどこの地方も本当にこれについて希望に応えたいけど物理的に、人員的に、予算的に、システムの的にも無理な状況です。ですからいかにして、リスクを軽減するか、安心してもらうかってやるしかなくて、予定日をきっちり決めて、行ったり来たりしなくていいように宿泊費を補助しようかと、そのようにするしかないのかなと思っております。ずっと前から産婦人科がないという状況で、妊婦さん方にはご不便ご心配をおかけしていますが、それを乗り越えて、県では一番の合計特殊出生率があるので、それぞれの環境を整えて、ご家族を含めて本人がこういう安心をとろう、とそういう選択肢を増やしていきたいと思っておりますのでどうぞご理解ください。本当にこれはいくつも手を尽くしてきましたけども難しいです。ここで何とかします、検討しますって言いたいですけどもそれも叶わないくらい現状は厳しいんです。

### 質疑3

#### 【発言者】

先ほどのお話に関連して、出産時の宿泊費の件ですが、里帰り出産の方が多いと思うんですが、市外の人でも対象になるんでしょうか。

#### 【福祉部長】

現在の事業として交通費助成をしている部分については、市内の方のみです。今後検討している事前宿泊についても、市内の妊婦さんのみと考えています。ただし、国の方がそういったことへの助成をしていこうっていう動きもあっております。今言ったように在住している市町村がそういった事業を取り入れている方については今後対象になるのではないかと思います。断定できません。そういう動きがあっていることは情報としてお知らせしておきます。

### 質疑4

#### 【発言者】

大越線の改良について、大雨の際に水が横断をして逆に流れているので確認していただきたいです。それと、根獅子小学校は紐差小学校と一緒にすると聞いています。跡地利用はどう考えていますか。それから行先の紐差小学校の校舎も古い部分があるので、ハード面で建て替え等もあるのかお聞きしたい。それから、7月13日、14日で鄭成功の生誕400周年記念行事にたくさんの参加者がおられたと思います。参加者がどのくらいだったのか、イベントの経済効果はどのくらいだったのか教えてください。

#### 【建設部長】

先ほどの大越線、山中紐差線の補修の件ですが、山からの水が大雨の時に流れてくるということで、要所要所に改修を設けてはいるんですけど、再度確認してグレーチ

ング蓋を改修するなどの対策を講じたいと思っております。

#### 【教育次長】

ご承知のとおり、根獅子小学校と紐差小学校の統廃合について検討されているところです。これについては、根獅子小学校の児童数がかなり減少しておりまして今年度で言いますと19名となっています。今後、2、3年先には新入学生もいなくなると予想され、完全複式学級が続いているところです。そこで保護者さん全員に出向きまして、ご意向を伺い、全世帯、統廃合に賛成というご意見をいただきました。その後地区の総会にもお伺いして地域の方々の意見を聞きながらある一定の合意をいただいたと認識しているところでございます。今年度に入り、中部地区小学校区適正規模適正配置検討委員会という統廃合に向けた検討委員会を立ち上げております。両小学校のPTA会長、副会長、根獅子、飯良地区の区長さん、総代さん、民生児童委員の方、まち協の会長さん等を委員とした検討委員会でございます。統廃合の時期については、委員会においては令和8年度からの統廃合を目指し検討を進めていくということしております。統合先になる紐差小学校でございますが、ご指摘のとおり古くなっている校舎もでございます。ただ、市内を見回したときに、学校数が多いものですから、年次計画を立てて改修等を行っております。紐差小学校は現在、計画に入っておりませんが、状況を見ながら年次計画を立てて改修が必要であれば改修をしたいと考えているところです。根獅子小学校の跡地利用については、現在まだ計画はありません。これから地域の皆さんの声を聴きながら検討を進めていきたいと思っております。

#### 【文化観光商工部長】

鄭成功生誕記念事業の件ですが、13日に文化センターで記念式典を行いました。約500名程参加いただいております。翌日の川内町での生誕祭も500名程の参加をいただいて、その後、午後からランタンフェスティバルをしました。雨の中でしたが2千人ほど来ております。また、今回は400周年ということで、中国の南安市関係、また台湾の方々が250名以上平戸に来られました。これが両日、ホテルが満員になりまして、宿がとれないという状況になり、松浦、佐世保方面にお客さんが泊まらざるを得なかったという嬉しい悲鳴もあったところでございます。経済効果については正式な数字を出していませんが、宿泊費だけでも1万5千円以上かかりますし、食事もたくさん地元でしていただき、イベントの中でも外国の方々がたくさん川内に来ていただきまして、夜遅くまで楽しんでいかれたということでございます。

### 質疑5

#### 【発言者】

獅子から春日に通じる県道の改修について、市、市議会はどのように動いているのかお聞きしたい。この県道については危ない状況ですので、せめて大型バスが安全に離合できるような道幅で整備していただきたい。それから獅子の町内で進められている港湾関係の道路の改修について、出来上がったところを見ると、カーブの外側を狭

めている。元に戻して大型バスが離合できるようにしてほしい。

**【建設部長】**

主要中央道平戸田平線のことだと思いますが、現在、紐差から田平までは改修されており、獅子から高越間が未改良、高越の区間が改良されて、その後河川に向けて改良というかたちになっているかと思えます。この未改良区間については、世界遺産登録時に文化庁との協議の中でなかなか改良の同意が得られなく、ところどころの離合場所の改良ということで同意を得ている部分だけ改良している状態です。世界遺産登録されて、春日のかたりなという施設がありますので、そこで春日のトンネルができて観光客も増えているということと大型バスの通行もあるということで、そこについては春日トンネルからかたりな間の部分の改良の要望を出しております。県の方も改良計画を立てておりますが、いつから着手するかは明確に出されておられません。他にも県の改良工事が何か所も出されていますので、施行している部分を優先してやっていって、優先順位を決めて順次やっていくというふうになっていますので、いつから着手というのは市のほうには明言されていない状況です。

**【農林水産部長】**

獅子地区内の道路の改良の件は初めて聞きましたので、確認させていただいて検討いたします。

**質疑 6**

**【発言者】**

消防署の中津良出張所の件でお尋ねします。数年前から出ている問題ですけど、市民の命や健康に関わる重要な問題です。平戸市議会でもかなり熱心に議論されていると思えます。この件についての考え方をお尋ねします。

次に、紐差地区には公共の公園がありません。保育園等の団体、保護者からまち協に対してふれあいの場としての公園の整備についての要望が数年前にされたところです。これについては3年前に紐差まち協と平戸市長の懇談の中で、公園建設については前向きな発言があったと聞き及んでおります。これに関してはどのようにお考えでしょうか。

**【消防長】**

中津良出張所、イコール中南部地区常備体制の方針についての議論と思っております。そのことについて、考え方を説明させていただきます。これまでも、市議会の一般質問、地区住民からの陳情があっており、消防本部においても中津良出張所については重要な事項であると認識しているところであります。中津良出張所ができてからはや40年を迎えまして、施設が老朽化する一方、社会情勢や市民のニーズも大きく変わってまいりました。こうした中で、整備にあたっては、組織体制、大きな予算を伴うこともありますので、市長、副市長及び市長部局と、様々な観点からどうやっていくかの協議をしているところです。従いまして、一般質問でお話しておりますの

で、現段階では明確な発言は差し控えたいと思っております。しかしながら今年度中には一定の方針を表明させていただきたいと考えているところでございます。

#### 【財務部長】

公園の件についてお答えいたします。おっしゃるとおり紐差地区には公園がないということで、以前から要望等を受けているところでございます。そういった地区の要望にお応えするために令和5年度から平戸市コミュニティ広場整備事業補助金というものを創設しています。これは地域において地域の方々が管理をするというのが前提の上で、100平米以上の造成や、フェンスや東屋の設置などをするということについて補助金を出すものでございます。対象経費が500万円までは全額補助をいたします。500万円を超える場合は、超えた部分の90パーセントを補助します。上限を1千万円としています。例えば、1千万円で地区が公園を整備した場合には、今の補助率でいきますと、950万円の補助が受けられるということになりますので、地元が50万円を出して地元で整備、管理をしていただくというものです。これについては、毎年各区長さんにご意向はないかということで文書を出していますので、地域において公園というか広場でございますが、そういう要望がございましたら、お気軽にご相談いただければと思っております。

#### 【市長】

中南部地区の常備消防体制については、今のままでいいとは思っていません。ただ、具体的には、場所とか機能がどうあるべきか、予算を伴うこともありますのでこれから体制の方向性をきちんと関係部局が横断的に協議をして進めていくことにしています。今年度中にとということで先ほど話がありましたが、議会ともよく協議をして最終的にそういう体制作りに向けていきたいと思っております。

公園につきまして最初に前向きな協議があったということで、その時のまち協との協議は、民間の方に委託して管理されている土地があって、そこをうまく活用できればいいかなと思って先方ともお話をさせていただきましたが結果的に調整がうまくいかず、難しいなとなりました。今財務部長が言った新しい制度のもとでまた候補地を探しながら子どもや母親、ご家族の皆さんが拠り所として集まれるような空間形成に皆さんの力をお借りしながら取り組んでまいりたいと思っております。

#### 【発言者】

消防の件は、少子高齢化ですから、救急体制も大切ですから、中部地区がいいとか南部がいいとかそういう問題ではなくて、平戸民のためにそういう立場で予算あるいは場所の選定をお願いしたいと強く要望いたします。

公園については分かりました。どういう形で場所が決まっていくか分かりませんが、ある意味、保健センターの一面にとという案もないわけではないので、その辺も含めて今後お願いしたい。

最後に要望を述べて終わります。中部地区自治振興会としても、毎年県に対しては国道383号、県道平戸田平線、これに関する要望書を提出して中部地区の振興と発展

を図っているところでございます。なかなか改良が進みませんが、地区の皆さんにもこういうことをやっているというのが浸透していないというのはこちらの手薄ではあるんですが、今後は改善していきたいと考えています。この要望については、これまでの長崎県からの回答を読みますと、「これらの主要な道路については、地域の事情に精通した平戸市と意見交換をしながら進めていきたい。」というものです。毎年こういう回答。全然変わってこないのに意見交換しているのかなって立場的に考えています。県からすれば、地元からの大きな後押しがなければいけないというのが感じ取っているところです。今年も同じ要望を提出する予定ですが、市の方でも県からの打診があるはずですから積極的にご意見をいただいて、バックアップをいただきませうようにお願いします。

#### 【建設部長】

地元から県に対しての要望なんですが、各地区から様々な要望をいただいています。平戸市としても県の方に進達して回答をいただいている状況です。中には地区の方で県に要望に行かれるとも伺っていますので、そういった分についても市も同行して意見交換をしたり、年度当初担当部局と回答に関しての情報交換とか色々な協議をしているところです。国道に関しては一部改良済みと回答されていますので、なかなか二次改良に着手するというのが難しいとは聞いています。今県の方では、今度西九州自動車道が来年度平戸インター松浦間が開通されますので、それに向けて少しでも時間短縮できる方法をとということで、木引から明の川内に向けてのトンネルの計画がされて今着手されています。さらに岩の上大橋のセブンイレブンのところの交差点から平戸大橋公園の間の渋滞がありますので、平戸大橋から市街の方に入ってくる車線を増やして渋滞緩和につなげるということで今年度から予算措置されて測量に着手するというので県の方も努力しております。草積の方も改良を進めております。なかなか全てを着手するというのは難しい状況にありますので、今している箇所について早期に完成してもらって次に移っていけるように市の方も県に強く要望していきたいと思っていますのでご理解をお願いします。

#### 質疑 7

##### 【発言者】

旧永田図書館はずっと空き家状態になって、裏の広場も草が生えて、地元の方とかボランティアで年に数回除草作業をして何とか現状を保っている状態です。以前活用について打診しましたが耐震化等の問題で活用できず空き家のままになっています。そこを今後どういうふうに考えているのか。解体していただいて、それなりの広場みたいなものができるんじゃないかと考えます。今のままでは防犯上もよくないと思いますのでよろしくをお願いします。

##### 【財務部長】

旧永田記念図書館の後は、あったかさん 21 という療育施設で平成 29 年度まで活用させていただきました。それが中野の方に移転して、平成 30 年度からはそのままに

なっています。おっしゃったように耐震性がないということから市においても解体をしなければならぬと考えています。来年、再来年には解体したいと考えています。跡地の活用については地元の方のご意見を聞きながら今後どのようにできるのか検討させていただきたいと考えております。